

# 前回の審議会でご頂いた主要なご意見と県の対応

平成28年2月24日

静岡県 交通基盤部 道路局





# 1 前回の審議会で頂いた主な御意見と県の対応

## ■第6回静岡県道路技術審議会 主な御意見と県の対応

対応方法等報告する必要があると判断した主な意見	県の対応
<p>総論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回審議会で、「ふじのくにの“みちづくり”」の中間評価の手法については、ご理解をいただいた。</li> <li>・審議中は、貴重なご意見を頂戴した。このうち、対処方法等について報告すべき意見について、以下のとおりとりまとめる。</li> </ul>	
<p>御意見</p> <p>幾つかの重点施策の取組では、一つの道路整備により複合的な効果が発現することになる。 例えば、幹線道路のネットワーク構築では、渋滞対策、防災機能の強化、渋滞がなくなれば事故も少なくなるといった複合的効果がある。 重点施策の個別整理だけでなく、取組の結果、他にも波及する効果があることを見せられれば良いと思う。</p>	<p>■社会インフラのもたらす効果として、「フロー効果」と「ストック効果」がある。 ■特に多様な分野で複合的に効果をもたらすネットワークを構築する道路事業を対象に、「ストック効果」をとりまとめ広報する取組みを始めた。</p> <p style="text-align: right;"><b>1</b></p>
<p>県の道路整備が順調に進んでいることがわかった。 中間評価に「地域の声」の検証を入れたのは、なかなかできないことだと思う。 検証では、「みち～満ち・充ちミーティング」の意見を抽出すると思うが、道路行政に有利な情報だけを集約していると疑われないためにも、意見収集プロセスを明確にするとともに、誰でも参加できることをもう少しPRしていく必要があると思う。</p>	<p>■「みち～満ち・充ちミーティング」は、本年度も7回実施予定である。 ■また、局内で広報活動のワーキングチームをつくり、道路行政の広報活動の強化に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;"><b>2</b></p>
<p>中間評価を重点施策の取組状況の検証と、道路を取り巻く背景の変化の検証の二本柱で行う方針が良いと思う。 最近の話題である道路の老朽化対策について、道路メンテナンス会議での取組を上手く検証に組み入れれば良いのではないかとと思う。 ただ、写真で見える限り道路メンテナンス会議は、大人数が一堂に会して開催されており、実のある会議になっているのか疑問が感じられる。</p>	<p>■道路メンテナンス会議の取組状況等をメンテナンスの重要性とともに打ち出していく。</p> <p style="text-align: right;"><b>3</b></p>
<p>「豊かさの実現」の数値目標が、「無電柱化率」と「運輸部門のCO2排出量」となっているが、なぜ運輸部門なのか、一般車両のCO2排出量算出は難しいのか。 また、「豊かさの実現」のための重点施策とCO2が結びつかないので、数値目標の設定プロセスも伺いたい。</p>	<p>■CO2削減は国家として取組んでいる取組であり、運輸部門の役割も大きい一方、施策と効果は複合的であることから、自動車部門を車種分類するまで細分化して管理するのは適当では無いと考えている。 県では、「ふじのくに地球温暖化対策実行計画」に基づき、全庁的に取組んでいる。 (備考) 1997年12月の気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)で採択された京都議定書に基づき、排出量の削減に取り組んでいる。運輸(自動車、航空、船舶、鉄道)部門で全排出量の約2割を占めるなか、自動車に関連する「交通流対策」は、バイパス整備、路上工事の縮減等多様な7つのメニューに取り組んでいる。</p>

# 1 前回の審議会で頂いた主なご意見と県の対応

1

## ●ストック効果

### ■ 道路整備による波及効果であるストック効果

#### 道路インフラのストック効果（概要）

・道路整備を行うことで発生する経済効果にはフロー効果とストック効果が存在

#### フロー効果

道路を建設することによる経済効果

◆道路を建設することにより、建設雇用が増加→建設業を中心とした所得の増加

#### ストック効果

道路が整備されることによってもたらされる経済効果

◆移動時間短縮などの利便性等が向上することに伴って、経済活動にもたらされる効果

投資効果	効果	概要
道路利用者が受ける効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行時間の短縮</li> <li>走行経費の短縮</li> <li>交通事故の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流輸送時間の短縮</li> <li>縦断線形解消による燃費の向上</li> <li>渋滞解消による追突事故の減少 など</li> </ul>
経済波及効果	フロー効果	建設に伴う雇用創出効果 など
	ストック効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住人口の増加</li> <li>雇用の促進</li> <li>所得の増加 など</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>通勤圏域拡大などによる生活圏域の増大</li> <li>物流企業等の輸送効率化による新たな企業立地</li> <li>輸送コスト縮減による事業規模拡大 など</li> </ul>

### ■ 県としての取組

- H27.5に、部局内で研究チームを設立
- 代表工区を対象に、ストック効果を算定
- パネル展の開催、県HPにおける掲載等示周知活動

### ■ 県作成ストック効果資料の一例

#### ボトルネックとなる河川部への新設橋梁の設置 橋を中心に広範な地域・分野の活性化に貢献！

はばたき橋(H25.8開通)

静岡県

#### はばたき橋の開通により周辺道路の渋滞が大幅に解消！

区間	開通前	開通後
① 富士山静岡空港	約600m	約300m (解消)
② 吉田	約800m	約400m (解消)
③ 島田	約1000m	約500m (半減)
④ 島田市初倉地区	約1200m	約600m (解消)

#### <効果1> 周辺市町の工業地域が活性化！

～新たな工場立地が進行～  
～既存立地企業の活動増進にも寄与～

周辺地域の新規工場立地面積

年度	面積 (㎡)
H25	3,257
H26	24,588
H27	65
H28	83,428

#### <効果2> 藤枝駅周辺地区が活性化！

～空港と駅を結ぶ新線バス路線が開通～

藤枝から世界へ

空港アクセスバスは、国内・国外送迎の「心臓」や「新目的地への扉」を大きく開き、効果も大きく感じています。観光客も増え、新たな雇用も生まれると1億4千万円の経済効果も見込んでいる。

#### <効果3> 島田市初倉地区が活性化！

～住宅・店舗等の立地が増加～

島田市初倉地区の住宅店舗建設数

年度	建設数
H25	42
H26	46
H27	50
H28	69

平均52件 (H25～H27)

はばたき橋の開通により、周辺地域の活性化が図られています。また、はばたき橋の開通により、周辺地域の活性化が図られています。

# 1 前回の審議会で頂いた主な御意見と県の対応

## ●道路整備における広報活動

### ■ みち～満ち・充ちミーティング

○県HPでの掲載



「みち～満ち・充ちミーティング」(道路についての意見交換)



○実績

- ・これまでに、延べ76団体と意見交換を開催
- H27は7回開催

＜主な意見＞

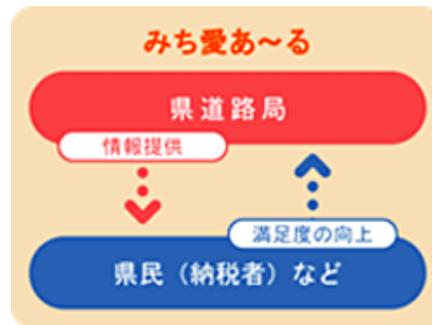
- ・災害に備えたみちづくりが必要
- ・高規格の道路を補完する道路整備が必要
- ・交通弱者に配慮した道路を
- ・事業の進捗管理をしていくことは良い取組
- ・道路の老朽化は大変深刻な問題
- ・幹線道路を結ぶ路線の整備による道路網整備が必要

### ■ ‘みち愛あ～る’による「見せる広報」

・IR (Investor Relations: 企業が行う株主や投資家への情報提供) の考え方に立ち、“みちづくり”への適切な評価を頂くため、積極的に広報を進める。

＜広報の概要＞

- ・道路予算や事業内容をあらゆる機会を通じて情報発信
- ・道路の完成や開通が分かる広報、開通式典やイベントの開催
- ・見やすいわかりやすいホームページ作り
- ・現場見学会の実施



# 1 前回の審議会で頂いた主な御意見と県の対応

3

## ●道路メンテナンス

### ■県HPでの掲載

#### 静岡県道路メンテナンス会議



#### TOPICS

- 平成27年 12月21日 [平成27年度 第3回静岡県道路メンテナンス会議 議事](#)
- 平成27年 12月17日 [【記者発表】平成27年度 第0回静岡県道路メンテナンス会議を開催します ～平成26年度の点検結果と措置方針について～](#)
- 平成27年 9月9日 [平成27年度 第2回静岡県道路メンテナンス会議開催結果 ～平成26年度の点検結果報告～](#)
- 平成27年 9月4日 [【記者発表】平成27年度 第2回静岡県道路メンテナンス会議を開催します ～平成26年度の点検実施状況及び対応結果について～](#)
- 平成27年 5月28日 [【記者発表】平成27年度 第1回静岡県道路メンテナンス会議を開催します ～最近の取り組み内容について報告！～](#)
- 平成26年 12月25日 [【記者発表】静岡県道路メンテナンス会議 省令により業務付けられた全道路施設で5か年の点検計画を策定 ～「第2回静岡県道路メンテナンス会議」の開催結果～](#)
- 平成26年 12月24日 [第2回静岡県道路メンテナンス会議 開催](#)
- 平成26年 12月22日 [【記者発表】平成26年度第2回会議を開催します～平成26～30年度個別施設点検計画を策定！～](#)
- 平成26年 10月10日 [第2回静岡県道路メンテナンス会議 開催（災害対応もあり、地域部会毎の開催となりました）  
・開催概要](#)
- 平成26年 10月2日 [【記者発表】第2回「静岡県道路メンテナンス会議」を開催します～平成26年度 道路橋点検計画を策定！～](#)
- 平成26年 9月25日 [【記者発表】道路施設点検技術者を育成します～自治体支援のため200人規模の研修計画を策定～](#)
- 平成26年 8月29日 [【記者発表】静岡県内の市町村職員（業務担当者）を対象とした「定期点検業務（技術的助言）」の説明会を開催します  
・開催概要](#)
- 平成26年 6月12日 [【記者発表】道路老朽化対策「パナール」を展開します（静岡県分）  
パナールの開催予定はこちら](#)
- 平成26年 6月4日 [第1回静岡県道路メンテナンス会議 開催  
・設立趣意書 ・規約 ・開催概要](#)
- 平成26年 5月29日 [【記者発表】老朽化した道路橋等の点検・修繕を効果的に行うため、「静岡県道路メンテナンス会議（仮称）」を開催します](#)

○点検計画 平成26～30年度

### ■国土交通省HPでの掲載



インフラメンテナンス情報トピック | 国土交通省トピック  
国土交通省



#### お知らせ・更新情報

- 2016.01.12 [「インフラメンテナンス国民会議（仮称）」の設立に向けた意見交換会の開催結果を追加しました。](#)
- 2015.12.10 [インフラメンテナンスに係るグッドプラクティスを募集しています。](#)
- 2015.12.04 [国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）のフォローアップを追加しました。](#)
- 2015.12.04 [「最新の技術」に次世代社会インフラ用ロボット技術・ロボットシステム～現場実証ポータルサイト～へのリンクを追加しました。](#)
- 2015.11.25 [下水道分野のマニュアル（下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン-2015年版）を追加しました。](#)
- 2015.10.01 [防衛省がインフラ長寿命化計画（行動計画）を策定しました。](#)
- 2015.09.09 [ポータルサイトを開設しました。](#)

#### コンテンツ一覧

社会資本の維持管理・更新

社会資本の現状と将来

国や地方公共団体の取組

法令・基準類・マニュアル類

最新の技術

リンク集

ページトップへ

プライバシーポリシー | リンク・著作権・免責事項について

国土交通省  
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3（代表電話）03-5253-8111  
Copyright ©2015 MLIT Japan. All Rights Reserved.